

議員と語る会

特集号



開かれた議会・町民と共にある議会をめざして

▲下沢畑公民館

2016年12月15日

発行/河北町議会

編集/議会運営委員会

質 河北町らしいまちづくり、永続性、先進性をきちんと研修してリードしてほしい。

答 行政サービスは知恵比べになってきた。町と町民が一緒になって考える場の設定などが大事だと考える。

質 中心街活性化まちづくりコンセプトはどうなったのか。

町の答 魅力ある商店街にするため、空き店舗対策に努めるとともに、どんがホールを中心とした賑わい創出を図っている。

その他の課題地域の課題

質 農閑期に地区の側溝に水が流れてこないの、流してほしい。

町の答 全地区への対応はできないかもしれないが、農繁期と違い水量が少なくなるのでご了解いただきたい。

質 イタリア野菜研究会をもっと応援してほしいか。

答 今でもいろんな応援はしている。今後も議会として努力していく。

質 地域での要望事項への予算獲得はどうすればいいのか。

答 区長会などでまとめ、議員や町長と語る会などで要望してほしい。

質 民生委員は誰が選ぶのか。

町の答 民生委員・児童委員については、業務の性質上、地域の事情に精通し、地域からも信頼を得られる方を、担当地域の区長さんなどで協議し、区長の推薦を受け、その後役場で決めている。

質 最上十八番観音の看板が見えない。また引籠湖までの道の草刈りがされていない。

町の答 現地を確認の上対応する。

質 除雪で交差点の見通しが悪い。雪を民家の前に置かないように。

町の答 見通しの悪い交差点については、現地を確認し排雪などを行っている。除雪の雪は、ご協力いただきたい。

この度の議員と語る会において、町民の皆様からいただいたご意見・ご要望は、町に要望します。

町民の要望のまとめ

町の活性化

- 人口減少社会に対応した活力ある町づくりを進める

暮らし

- 木造住宅の耐震改修工事費の一部を補助する制度を確立する
- 町民から寄せられた要望を基に、他の公共交通との接続やバス利用などを考慮し、利用しやすい生活交通体系を図る
- 道の駅出入り口の渋滞緩和を図る
- 間口除雪など円滑な除雪対策を進める

社会資本整備

- 庁舎整備は財政を考慮し町民に情報提供を行い、意見を十分反映させる
- 白水仙合流付近の漏水対策を行う
- 溝延の無堤防地区解消

観光

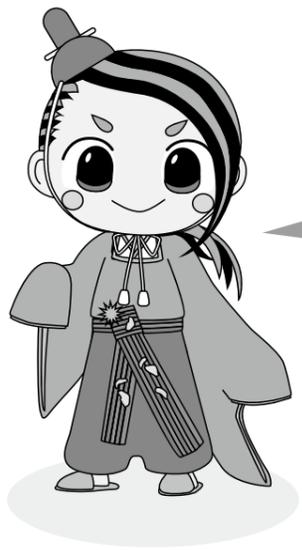
- イタリア野菜のブランド化と産業界全体の活性化のため、独自の支援を行う
- 紅花資料館を観光拠点として位置付け、売店、食事処の充実を図る

教育

- 教育の狙いを明確にした学区再編を進める

班編成	1 班	2 班	3 班
	岡田 桂司 木村 章一 丹野 貞子 吉田 芳美 石垣 光洋	松田 收作 大場 勇人 榎 正義 細矢 誓子 東海林 信弘	増川 修 漆山 光春 齋藤 隆 松田 賀好

開催日	会場	班	参加人数
10月19日(水)	農村環境改善センター(西里)	1 班	48人
	吉野公民館	2 班	16人
	北谷地構造改善センター	3 班	12人
10月20日(木)	下沢畑公民館	1 班	18人
	田井ふれあいセンター	2 班	11人
	畑中農事集落センター	3 班	7人
10月21日(金)	どんがホール	3 班	18人



「ご参加有難うございました」

発刊にあたって

河北町議会は、町民に開かれた議会及び積極的な町民参加を推進することを旨とし、平成23年度から「議会報告会」を開催しております。

今年度は10月19日から21日までの3日間、7会場において開催しました。

懇談会では、昨年の語る会で出された要望事項への対応状況、平成27年度決算の概要や課題の取り組み状況等を報告し、出席者の皆さんから貴重なご意見、ご要望等をいただき有意義な意見交換ができました。心から感謝申し上げます。

また、今年度はテーマとして設けた「庁舎建設について」多くのご意見をいただきました。今後の議会活動に活かしていきたいと思っております。

今後とも町民の皆さんと積極的に対話し、信頼される議会づくりを目指していきますのでよろしくお願ひ申し上げます。

河北町議会

議会運営委員会

みなさまの貴重なご意見を生かす町づくりへ

花ノ木工業団地

質 議会として、花ノ木工業団地(宅地)の用途変更の認識について。
答 当時、宅地は安全な状態との理解で行ったが、その後の調査結果、11月4日に町から、土壌中の鉛が基準値を超え、当該地を立ち入り禁止にし、地下水検査を継続的に行う設備を設置するとの報告があった。関係者へも順次説明会を開催することのことだ。

防災関連

質 沢畑地区は活断層の真上にあり、個人住宅など耐震補強への支援を進めてほしい。
答 今でも耐震診断と補強工事の県の制度がある。議会としても支援制度の要望を町にしていきたい。

防災無線

質 従来設置してあった機器を転用して現在の防災無線を稼働しているが、以前のような時報を



田井ふれあいセンター

知らせる事もなく、地区の端に行くとも聞こえない。住民の意見を聞いて設置したのか。

町民プール

質 町民プールの採算はどうか。
答 9月末で利用者が1万人、会員登録も1000人を超えた。すぐに結果

国保税

質 医療費の割合に対して、町の国保税が高いのは何故か。
答 応能・応益割など制度上の課題がある。30年度の県一本化の時期に考える必要がある。

学区編成

質 教育の狙いを明確にした統廃合を求めたい。

質 小学校の学区編成の進め方は。若い者は小学校の無いところには住みたくない。
答 平成28年度の教育振興計画策定で議論する。

合併

質 合併の話はないのか。
答 平成の合併時はあったが、今はない。

西里財産区

質 財産区は、自分たちの年代までは愛着があったが、今後どうあるべきかを飛び越えて、町に移管したいのが本音だ。
答 総務産業常任委員会で視察し、現在西里財産区管理会で協力金5000円のことや、今後の運営全般について検討しており、その後地区の皆さんに提案されると考える。

農政調査会

質 諮問・調査・答申まで期待していたが結果的には触れられていない。
町の答 調査会での活動した結果が分かりづらい

道の駅

質 谷地橋のたもとにあり、駐車場に入る事が容易でない。後続車両の渋滞にもつながっている。
答 施設の持っている弱点多い。今年度から受託した事業者が一生懸命戦略を立て営業している。また、老朽化した設備の改善等もある。

質 他市町の道の駅を見ると、産直と連携させる道の駅に変わってきている。
答 産直の場所は、ひなの湯の利用者(毎日1000人ぐらい)を考えるとJAと協議して決めた。

質 町は道の駅の指定管理者の要望に添えているのか。
答 指定管理者の企業経営の進め方と行政の仕組みなどで課題が生じてきた。議会は、適切な対応を求めている。

紅花・紅花資料館

質 紅花を前面に出してがんばってほしい。
質 紅花資料館の売店、お食事処八景庵の運営を充実させてほしい。また、予約制でなく、車で乗り入れられるよう考えてほしい。

答 先に建物を造り、施設の狙い・運営の中身や運営者を後で決めるやり方で任された経過が問題

路線バス

質 歳入歳出を教えてほしい。また、東部地区路線の利用が少ないようだ。高島町のようにデマンドバスを運行してほしい。
町の答 27年度は利用者1万5626人、収入は171万円、支出は1348万円である。

だった。議会でも改善できるように努力したい。

公共交通機関のない中、町営バス・民間バスの利便性の向上を図ってほしい。

答 町の路線バスは路線によって利用者が増加しているところもあるが、時間帯では乗客が少ないようだ。通院などで利用されている方もいるので今後検討するよう伝える。また、民間バスとの協議は意見としてお聞きする。

ふるさと納税

質 ふるさと納税が伸びた要因は。
答 返礼品として、米(はえぬぎ)、果物、肉などで150種類の返礼品をそろえたことが要因ではないか。

まちづくり

質 毎月人口が減っている。2万人を目指すと言っているが、具体的な町の政策を伺いたい。
答 議員も種々の提言を行っており、定住・移住・子育て支援・空き家の利用促進などを進めている。

空き家の危険家屋について、金山町などでは撤去費用を予算化して取り組んでいる。本町の条例制定など伺いたい。

答 町では行政処分して持ち主に請求するまで至っていない。

空き家の利活用(除去を含む)については、町民アンケート調査を行い対応を講じたい。

町の答 空き家の利活用(除去を含む)については、町民アンケート調査を行い対応を講じたい。

荒小屋地区は、学区と区域が違い活動しづらい。

答 各地区での充分な話し合いの中から、行政区域の変更を考えていただきたい。



畑中農事集落センター

質 リフォーム支援補助金については、町・県の補助金を同時に使えない。
町の答 両方使えるが、県は耐震・省エネ・バリアフリー化など、県の要綱で定める要件を満たすものが補助金となる。

都市計画マスタープラン策定に伴い、用途地域の見直しなどあると思うので教えてほしい。

答 今年度策定するため都市計画審議会で審議中

側溝の泥上げをしたが、放射能の問題で前に進まない。

町の答 原発事故後に中止をお願いしていたが、25年度から再開するようにした。実施の際は担当課までお知らせ願いたい。



農村環境改善センター(西里)